

気ままに Furacoko. 便り ふらここ ふら子フラフラ散歩・26

27号

平成29年7月22日号

AngelSeed.

Hand made
+

<http://furacoko-725.cocolog-nifty.com/blog/>



メルヘンの丘



7月の初め北海道へ家族旅行。羽田から朝一番の便で女満別空港へ。到着案内朝の9時だというのに27℃あぢい〜！！レンタカーに乗り込み出発。先ずは『メルヘンの丘』空港から10分ぐらい。道の駅の一寸先の道沿いに案内があります。車を止め畑が広がる丘の向こうに木がぽつぽつと並び赤い屋根の小屋青い空・・・メルヘンです。葉翔明の世界が広がってました。

次は『感動の径』同じような畑の丘が続きナビに案内されこの辺と・・・空気の澄んでいる時だと田園風景とオホーツクと知床連山が一望でき北海道らしさを感じられるようなのですがお天気が良く暑かったので遠くは霞んでおりました。田園風景だけ味わいオホーツクへ向かいました

オホーツク海に一番近い駅『北浜駅』無人駅でホームからオホーツクが見えます。駅の横には展望台もあります。駅舎はレトロな喫茶店になっています。日に数本しか通らない一両の小さな電車ホームに入ってきました。おもちやのようです。

次は『小清水原生花園』へ。広い駐車場もあります。メルヘンチックな小さなログハウスの駅舎線路を渡り原生花園の小道を歩いていくとオホーツクも見え砂浜に行けますオレンジ色のゆりの花と小ぶりの黄色のゆりの花が潮風に揺れています。ポンプ式の井戸水がかわいくぽつんとありました。

次は『天に続く道』知床半島のへの途中です。ひたすら真直ぐな道を上り下り上りきった所に展望台と駐車場があります。車に注意して道の真ん中から眺めると確かに真直ぐの道の先は空です。此処からは知床五湖を目指します。



北浜駅



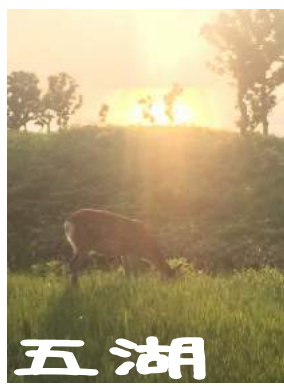
小清水原生花園



天に続く道



知床五湖



木の株に
苔 & 新芽



木の空からの空



知床岬



カムイワツカの滝
海から



カムイワツカの湯滝



帰りの女満別空港近くの夕日

昔、知床五湖に来た時は一湖の高架木橋を歩いただけだったので今回は五湖を巡りたくガイドツアーに申し込みました。3時間のコース。この時期は熊の活動期なのでガイドさん一緒じゃないと高架木橋以外は入れません。ガイドさんからレクチャーを受け出発です。私たち家族とイタリア人の男性一人のグループでした。ガイドさんは英語と日本語を交互に使って説明してくれ、虫のこと動物のこと植物のこと山のこと海のことゆっくりと楽しく説明してくれます。森の中風も無くどの湖にも知床連山が鏡のように映り私でも上手に撮れた気になります。森の中で動物に会えたらいいな~と思ってましたが小動物にあうには午前中のほうがいいようです。高架木橋手前に熊が出没。私たちグループの数メートル先に居るようでカサカサと熊の動く音がするけど姿みえず。熊が去るまで静かに待機です。高架橋からは熊が見えてるようで人が集まっています。森に消えたのを確認し素早く高架橋へ上りましたので熊は見えません。残念でしたが景色を見ながら高架木橋を歩きました。鹿がいて夕日の中一寸寂しげだったのは気のせいかな? ガイドさんが言うには昨日まで小鹿と一緒にだった母鹿だそうです。今の時期子供と離れることは無いのに母鹿だけなのでもしかしたら熊さんに会ってしまったのかもしれないと...

夜は宿で毛蟹を食べ地酒を飲みいい気分になってぐっすり~。朝起きて温泉に入りました。

2日目は知床半島クルーズです。知床岬まで船で行って戻ってくる3時間コースです。崖から流れ落ちる滝や熊が集まる海岸や番屋、色んな形の岩など説明してくれます。知床岬あたりで『知床旅情』が流れつい口ずさんでいました。知床岬海岸に集まる熊の姿も見えました。陸からは見る事の出来ない世界遺産を満喫できました。

お昼は港に有る食堂でうに丼。食べた後は知床五湖の奥にある『カムイワツカの湯滝』この滝は温泉です。知床五湖の先からは砂利道を30分くらい生きます。途中鹿や狐が道路に出できましたよ。滝は今はこの滝から岩が崩れていて危険なので立ち入り禁止。一の滝の滝つぼは25度くらいかな~。年配の山ガールは水着で入浴してました。一の滝の上までは男子は登ってましたが女子にはちよいとキツイかな~。温泉の滝を歩くなんて中々いい体験でした。

此処からは一気に知床横断道路を通り女満別空港へ。途中森の中の熊さんを車から見ることもしれました。鹿や狐は結構出てきます。1泊2日の旅でしたがぎゅっと詰まった旅で知床満喫できました。でもまだまだい行きたい所いっぱい!! 又来るぞ~北海道!!